

一般

生コンクリート標準配合表

項目 記号	設計基準強度 (kgf/cm ²) (N/mm ²)	空気量 (%)	粗骨材最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	最大水セメント比 (%)	最小単位セメント量 (kg/m ³)	セメントの種類
C-1	-	4.5	20又は25	8	-	-	BB
C-2	(160) 16	4.5	40	5	55	-	BB
RC-1	(210) 21	4.5	40	8	60	280	BB
C-4	(180) 18	4.5	40	5	55	-	BB

注 BB : 混合セメントB種
インパートはC-4

エポキシ樹脂接合材規格・性能表

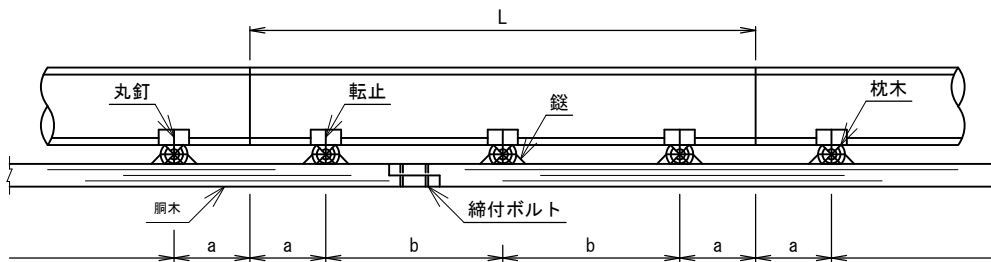
単位	性能		単位
外観	-	パテ状	-
比重	23°C	主剤	1.65±0.05~1.80±0.05
		硬化剤	1.55±0.05~1.75±0.05
主成分	23°C	主剤	エポキシ樹脂及び無機充填剤
		硬化剤	ポリアミド樹脂及び無機充填剤
可使時間	23°C	7±2~15±2	分（程度）
硬化時間	23°C	30±10~40±10	分（程度）
圧縮強度	23°C	常態	509.0以上
		耐水	455.3以上
引張強度	23°C	常態	129.6以上
		耐水	125.9以上
硬度	23°C	38以上	シヨアDJISZ2246
モルタル 曲げ接着力	23°C	常態	50.0以上
		耐水	40.0以上
PVC引張 せん断接着力	23°C	常態	21.1以上
		耐水	21.7以上
吸水率	23°C	1.0以下	%

基礎工材料寸法表

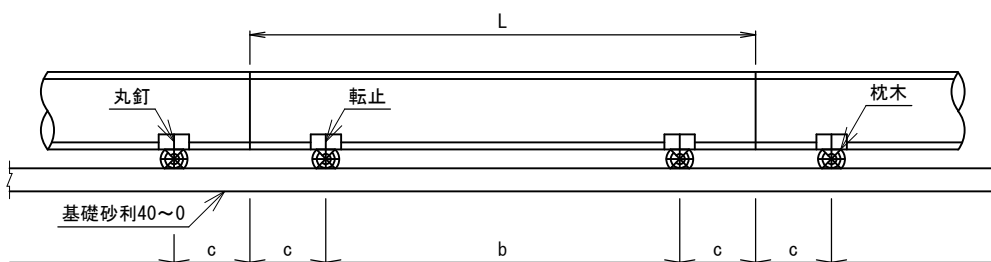
区分	管径 D (d) (m/m)	材料 延長 L (m)	基礎工											管種		
			枕木		胴木	転止	締付	継	丸釘	基礎厚H		梯子胴木			枕土台基礎	
			太鼓落し	太鼓落し	松正角	ボルト			砂	切込砂利 40~0	a	b	c		d	
汚水管・雨水管	250~350	2,000	末口仕上り 径105×径75 L=450	末口仕上り 径120×径90 L=4,000	60×60×150	Φ9 L=125	Φ9 L=150	Φ4 L=100				300	700	300	1,400	B形管
	400	2,430	120×90 L=450	120×90 L=4,000	60×60×150	Φ9 L=125	Φ9 L=150	Φ4 L=100				415	800	400	1,630	〃
	450~600	〃	120×90 L=600	120×90 L=4,000	60×60×200	Φ9 L=125	Φ9 L=150	Φ4 L=100				415	800	400	1,630	〃
	700~1000	〃	150×120 L=900	150×120 L=4,000	75×75×300	Φ9 L=150	Φ9 L=180	Φ4 L=150				415	800	400	1,630	〃
	1100~1200	〃	150×120 L=1,200	150×120 L=4,000	75×75×400	Φ9 L=150	Φ9 L=180	Φ4 L=150				415	800	400	1,630	〃
	1,350	〃	150×120 L=1,500	150×120 L=4,000	75×75×400	Φ9 L=150	Φ9 L=180	Φ4 L=150				415	800	400	1,630	〃
	1,500	2,360	180×150 L=1,500	180×150 L=4,000	90×90×400	Φ13 L=210	Φ12 L=210	Φ4 L=150				380	800	400	1,560	C形管
	1650~1800	〃	180×150 L=1,800	180×150 L=4,000	90×90×400	Φ13 L=210	Φ12 L=210	Φ4 L=150				380	800	400	1,560	〃
	2000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃				〃	〃	〃	〃	〃

- 注) 1. 汚水管における梯子胴木および枕土台基礎は、管種がHPに限定
 2. 雨水管の管種型式はφ1,350m以下はB型とし、φ1,500m以上はC型とする
 3. 基礎厚Hは別途設計書にて指定

梯子胴木基礎 NON SCALE



枕土台基礎 NON SCALE



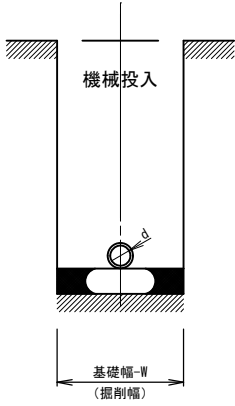
基礎工適用表

型式	区分	基礎工									
		枕木	胴木	転止	締付	継	丸釘	基礎		梯子胴木	枕土台基礎
		太鼓落し	太鼓落し	松正角	ボルト			砂	切込砂利 40~0		
A	汚水							○			
B	汚水 雨水	○		○				○			○
C	汚水 雨水	○		○					○		○
D, P	汚水 雨水	○		○					○		○
E, Q	汚水					○					
	雨水	○		○				○			○
F, R	汚水	○	○	○	○	○	○			○	
	雨水	○		○			○				○
G, S	汚水	○	○	○	○	○	○			○	
	雨水	○		○			○		○		○
H	汚水							○			○
	雨水	○	○	○	○	○	○			○	
I	汚水	○	○	○	○	○	○	○		○	
	雨水	○	○	○	○	○	○			○	
J	汚水							○			
	雨水	○		○				○			○
K	汚水	○		○				○			○
	雨水	○		○				○			○
L, N	汚水	○		○				○			○
	雨水	○		○				○			○
M, O	汚水	○		○				○			○
	雨水	○		○				○	○		○

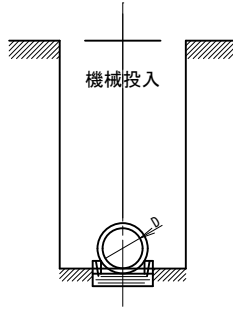
管布設定規圖(1)

NON SCALE

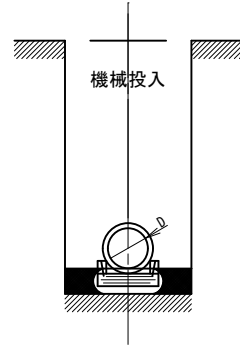
A型 污水管 (VU)



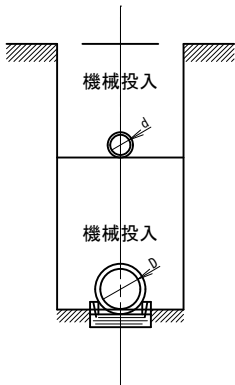
B型 污水or雨水管 (HP)



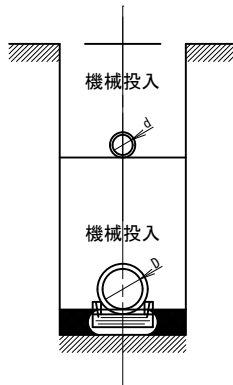
C型 污水or雨水管 (HP)



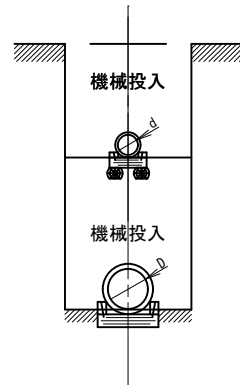
D型 污水 (VU) & 雨水管



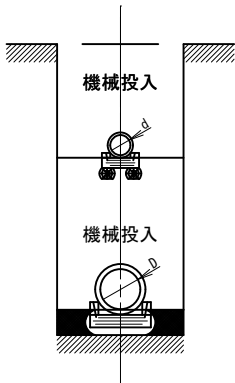
E型 污水 (VU) & 雨水管



F型 污水 (HP) & 雨水管



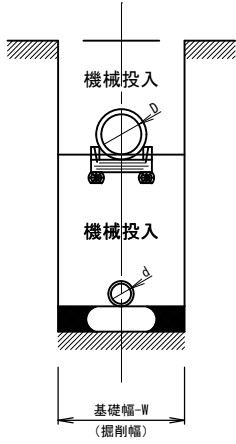
G型 污水 (HP) & 雨水管



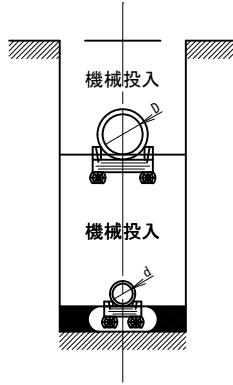
管布設定規圖(2)

NON SCALE

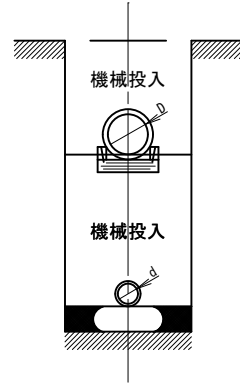
H型 雨水&污水管 (VU)



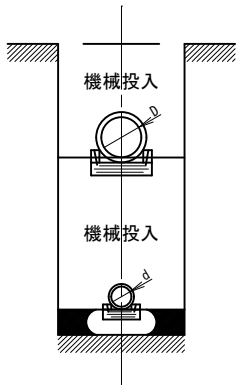
I型 雨水&污水or雨水管 (HP)



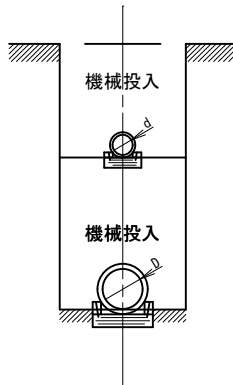
J型 雨水&污水管 (VU)



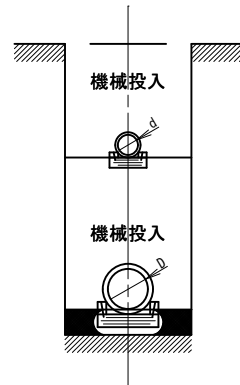
K型 雨水&污水管 (HP)



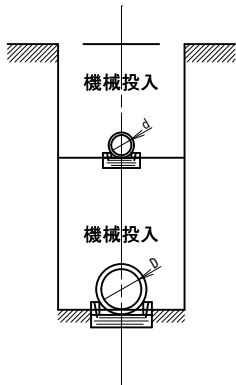
L型 污水 (HP)&雨水管



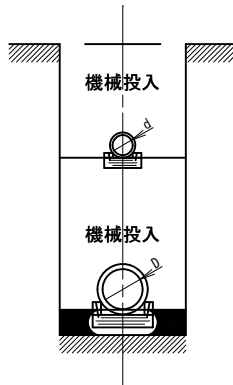
M型 污水 (HP)&雨水管



N型 污水 (HP)&雨水管



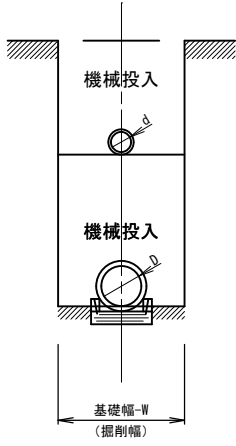
O型 污水 (HP)&雨水管



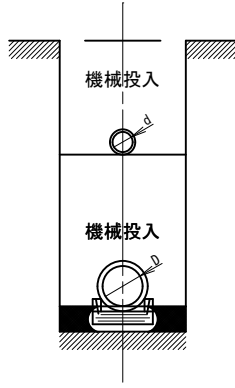
管布設定規図(3)

NON SCALE

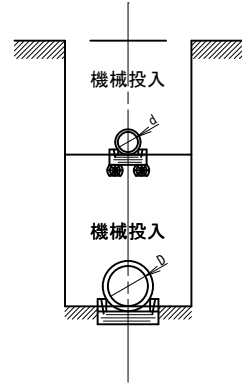
P型 汚水 (VU) & 雨水管



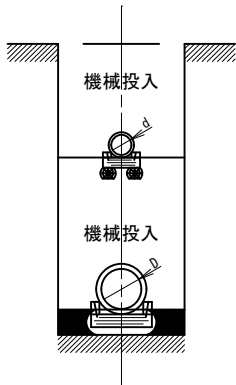
Q型 汚水 (VU) & 雨水管



R型 汚水 (HP) & 雨水管

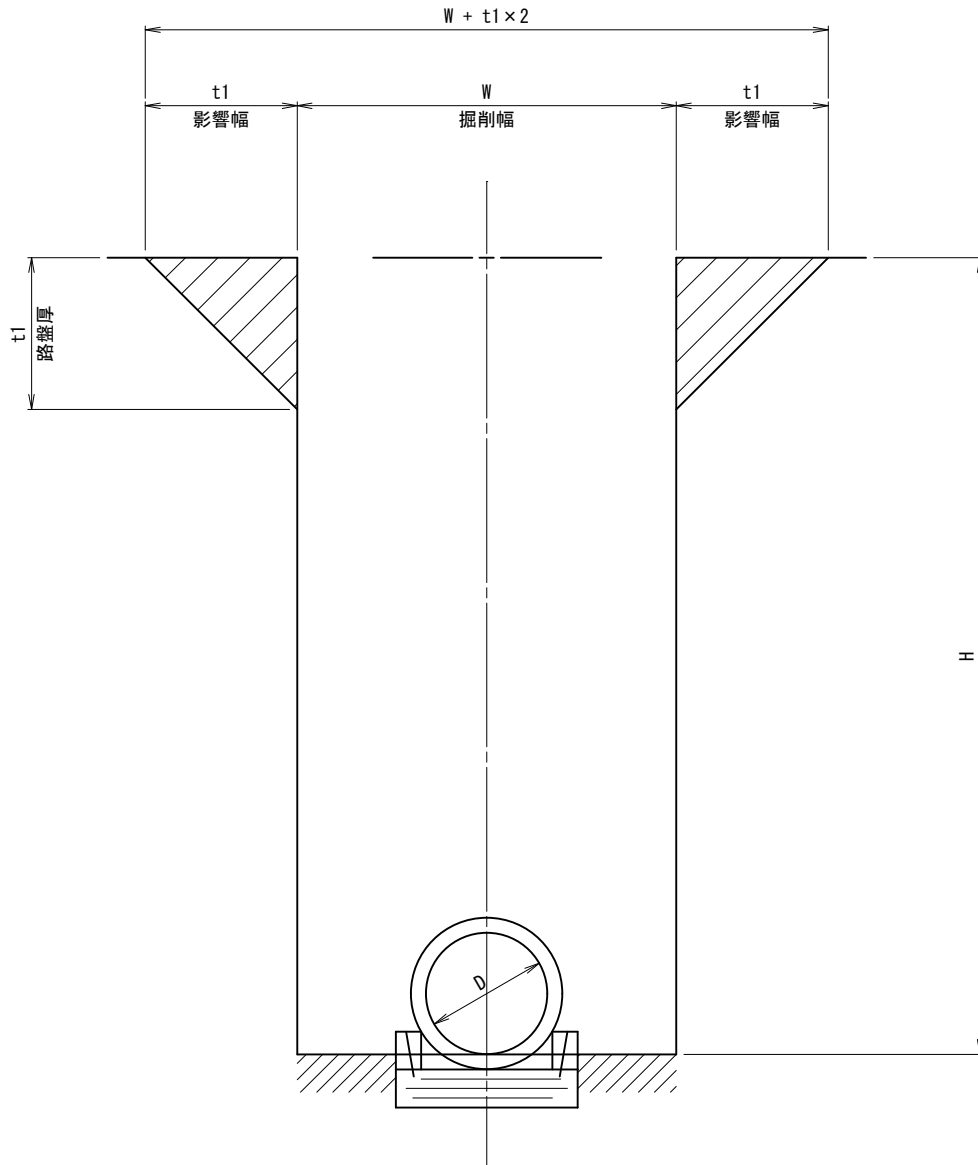


S型 汚水 (HP) & 雨水管



施工基準（掘削工）

NON SCALE

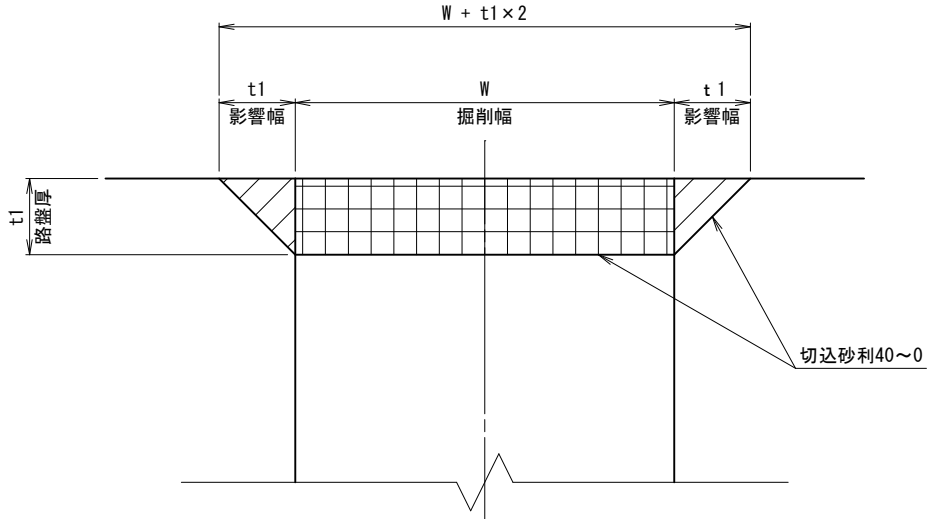


- 注
- (1) 砂（購入土）埋戻しの場合、斜線部分はカットして捨てる。
 - (2) 在来土埋戻しの場合、斜線部分はカットしない。
 - (3) 掘削幅 W は、別途設計書にて指定。

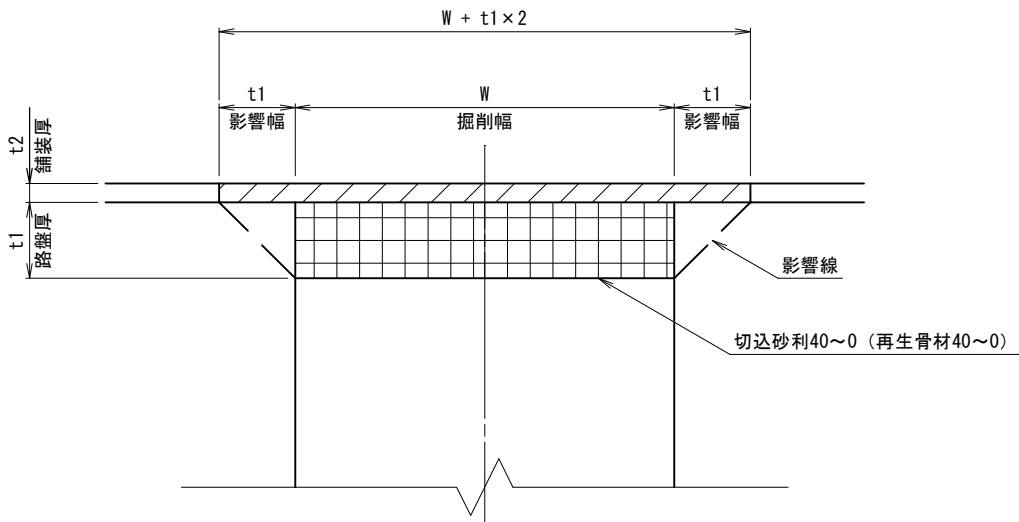
施工基準（路面復旧工）

NON SCALE

未舗装道路復旧



舗装道路復旧

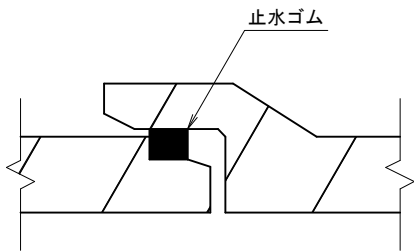


- 注
- (1) $t1$ 、 $t2$ 及び復旧幅は、別途設計書で定める。
 - (2) 公共汚水樹、公共雨水樹取付管工も、これに準ずる。
 - (3) 舗装影響幅は最低25cmとする。
 - (4) As安定処理厚は路盤厚に含まれる。

管接合工

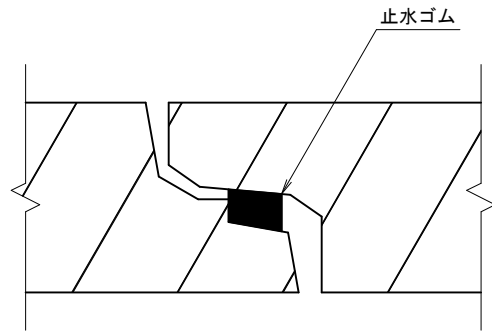
B形管

NON SCALE



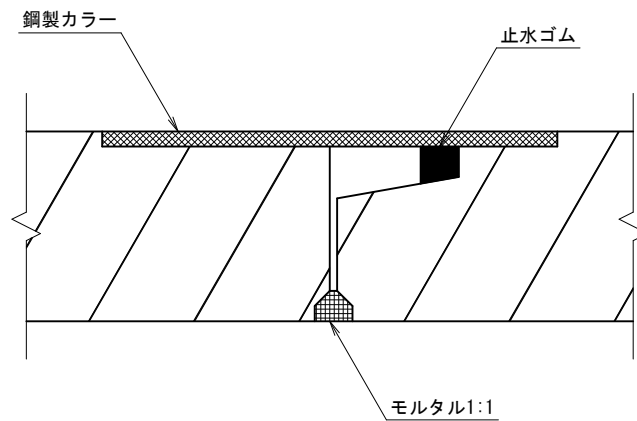
C形管

NON SCALE



埋込カラー形推進管

NON SCALE



- 注
- (1) 管径φ800以上の場合、図示のとおり内目地をする。
 - (2) 管径φ700以下の場合、目地はしない。